

4

通 報

十月二十五日午前最  
於 柳 樹 檜

一、第一師團長報告要旨ヲ摘出スルニ左ノ如シ

昨日午前二時頃ヨリ旅順旧市街北部ニ火災起リ約一時間熾ニ火

焰ヲ見シカ午前五時頃ニ至リ鎮火セリ

午後時松樹溝谷地ニ車數十台ヲ以テ何物カ運搬セシヲ以テ歩兵火

ヲ加ヘシモ其効力不明ナリ同日我方兵士卒十名ノ死傷アリ

二、第九師團ノ龍山附近ノ工事約五十米ニ接近シ又々鉢巻山ニ於テ我

僅カニ約十米ノ位置在リテ殆ド全戦中ノ情况ナルモ係ラス其作業

ハ比較的能ク進捷シツマリ我死傷傷特務曹長以下三十五人

ナリ

三、第十一師團ノ東嶺冠山北砲台ニ向テ坑道ハ昨日敵ノ對壕ニ衝突シテルカ

如ク我作業地下ニ隔敵部ヲ進セリ昨日同師團ノ死傷ハ特務以

下十三名ナリ

四、在營ニ時倉歩兵少佐ヨリ左ノ要旨ノ通報アリ

二十日支那外ハイムスニ記載セル十八日四里祭電報ニ依テ佛國新設

ハ最近ハ戦争ニ就テ勿レトキニカニ言フハ是亦ラ大打擊ヲ受ケル醜体

0525

ヲ漸ク露國民ノ感情ヲ思ルヘキ影響ヲ及ボスヲ恐ルト

十九日ハバズ電報ニ依ルル露國民ノ當局者ノ最近戰爭情況ヲ察

表セザルヲ露國軍非常ナル打撃ヲ受ケタル相違ナシトナンカバズトシテ

矢張り怒リ念ハ益々増加ス

齋藤少佐ヨリ敵ト闘シ左ノ報告アリ

六月頃露國軍作ル材木ヲ運搬シタル清國人ノ談話ヲ如シ

松樹山砲台ノ外壕内ニ在リ射撃ヲ能ハサルカ如ク其外岸ハ右ヲ擇ビ被覆前

岸ノ自然地ノ石ヲ掘リ下ケテ急峻ニシテ自射撃シタル所ニハ徒歩シテモ難ク登リ

能ハサルカ如ク其深サハ二丈以上ヨリ當時晝夜共引越キ工事ヲ施シテアリシ以

テ左ヨリテ如何ニ變化シタルヤ知ラズ支那人ノ砲台内部ニ入リテ當時ヨリ許

サレザリシ然レモ内部ノ一面ハ砲台ヨリ咽喉部ノ面ニ掩蔽部アリ其ノ下ニ

エテ構造シアリ

ニ部山砲台ハ至ラザリシモ常ニ望見シタル所ニ於テ自砲台構造松樹山下

同一ニシテ兵々大ナル差ヲ差違アリ外壕ノ深幅ハ略々同一ナリシ亦四月頃ニ

龍山ニ至リシ支那人ノ言ニ依ルル時ニ龍山砲台ノ外壕ノ深幅ハ前者ニ比シテ

ル所ニ等シ而シテ東郷尉山北砲台又以上ノ砲台ト同一構造ナリ其南方

即東郷尉山砲台ノ外壕トシテ其月高形斜面抄テ急峻ナル外壕

ヲ設クン地積ナキニ由ルナリ

第三軍參謀長 伊地知 幸介

通報

十月廿六日午後一時世谷  
於 柳樹房

一 第一師團長報告、要旨は日ヲ捕出スルヲ左ノ如シ

其ノ于四日後一時生頃ヨリ一時至同、於テ敵兵約三百名旅順街道ヨリ龍山  
方面ノ行進、其後以テ方面ノ於テ敵ノ姓復頻繁ナリシ

二 龍山方面ノ備砲ハ我作業ノ防得スルヲ甚シク此日我死傷下士卒千八百ナリ  
其ニ歩兵第一聯隊ヨリ報告ニ依リ八自至山ノ右方ニ在リニ本煙突ニ本捕出  
（多クは砲ヲシテ）我海軍砲ノ射撃ヲ受ケテ沈没セリ

一 本日午後一時頃ヨリ第一師團ノ松樹山砲台在ル敵ノ散兵隊又ノ第九師團ハ龍山砲  
台在ル散兵隊並ニ鉢巻山堡壘ノ咽喉部附近ヲ奪取スル等ナリ

第九師團ハ二十四日見習士官以下四十名死傷アリ

三 第十一師團長報告ノ要旨ヲ摘出スルヲ左ノ如シ

二十四日午後一時我作業隊ハ右側坑道ノ作業前頭下ニ敵ウ坑道ヲ掘進シ、  
アルヲ察知セリ午後九時頃至リ若干ノ振動アリ我坑道ノ一部崩壊シ  
攻路堀ノ側板倒レ燃火滅セリ因テ作業ヲ中止シ敵情ヲ偵察セシニ敵坑道  
ハ我作業前頭ノ右側下方ニ在リテ其作業隊ハ我後方ヨリ来ルニ如シ我作業  
班ノ敵ヲ防得スル方法ヲ講シツツナリ同十時三十分頃敵兵ニ北砲台方面  
敵外岸上ニ現レ由テ照明彈ヲ擲ヘタリ想テ該地坑道ノ開口ニ兵ヲシ  
敵兵作業ノ音響ヨリ察スルニ其作業手ハ三名ニ至リ（自時作業ハ未ダナシ）

0527

四、攻城砲兵司令官報告ノ要旨ヲ抄録スルニ左ノ如シ  
坑道ノ幅ヨリ由至高サニ未中一撃サテ但シラレ同日死傷下士年十七名ナリ

二十四日午後八時砲ヲ以テ三十発重艦射撃ヲ施行セリ昨廿九日東海船  
小北砲台ヨリ三十九発(第一新團作業ヲ援助スル爲メ)黄金山西北村  
ニテ製造場ノ向ニ三十発射撃ナレ甲六六發乙五五發、余中彈ヲ得  
陸戦重砲隊ハ昨日午前九時ヨリ午後六時迄陸面ノ堡壘港内汽艇、  
掃海艇、及軍艦ノ推定位置ノ向ニ散布射撃ヲ施行シ約一千噸位ノ汽  
艇一隻ヲ沈没セシメリ共間三百六十七発ノ高弾ヲ集中シテ細木海  
軍大尉以下戦死五名及傷下士年七名アリ

第三軍参謀長伊地知幸介



一攻城砲兵司令官報告ヲ要旨ヲ摘出スルニ如ク

其、昨廿六日八時砲台ヲ以テ施行セシ重砲射撃目標及命中彈ノ關係尤ノ如ク

松樹山砲台ニ對シ發射彈八二發ニシテ命中彈四七發ニ龍山砲台ニ對シ發射彈二三發ニ

テ最も効力アリシ命中彈二發、東嶺山砲台ニ對シ發射彈七七發ニシテ命中彈九

發、同北砲台ニ對シ發射彈八五發ニシテ命中彈四一發ヲ得、東嶺山砲台火砲ノ一門ヲ破壊シ

同北砲台火藥庫ヲ爆發シ又陸戰重砲隊ノ砲撃ト合シテ松樹山砲台ノ十五號砲一門ヲ破

壞シ他ノ一門ヲ毀壞シ掩蓋數ヶ所ヲ破壊シタルガ如ク

其二、同日第一第九師團ノ松樹山及二竜山前散兵壕奪取ニ當リ攻城砲兵隊及陸戰重砲隊ハ有

力ヲ援助シ共ヘテ當日攻城砲兵團ニ將校三名以下廿一名ノ死傷者アリ

三、第一師團九翼隊ハ豫定ノ如ク昨廿六日午後五時五分松樹山砲台前約百米ニ至リ散兵壕ヲ奪取セリ、戦

死傷下士卒三十六名アリ

今十分頃カ九師團ノ右翼隊ニ二竜山砲台斜堤前ニ在リ散兵壕ヲ奪取シ直士工隊ニ着キセリ其動

作頗ル敏活ニシテ正ニ要塞戰ニ熟練セリト認め

此古領向ニ於テハ野戰砲兵カニ根固及攻城砲兵團ハ適切確實ナル援助射撃ヲ共ヘケリ

四、昨日古領シタルニ竜山砲台斜堤前、散兵壕ニ向テ昨夜散圍有カナル敵ノ遊襲アリ、激烈な戦

闘ヲ交ヘタル後悉ク之ヲ擊退セリ、敵ヲ將校以下ノ死屍約六十名、殘リ我軍ハ戰死將校六名、同員

傷八名、下士卒死傷約三百名アリ

四、昨廿五日ニ關スルカ、九師團長報告ヲ要旨ヲ摘出スルニ如ク

其一、同夜零時廿分頃白玉山南方ニ於テ熾ニ火焰起リ時ニ爆音ヲ聞キ當時ニ至リ鎮火キテ攻  
城砲兵司令官ノ報告ニ依リ軍艦射撃ノ副効力ナリシヲ云フ(當日カ師團六將校以下十九  
名ノ死傷アリ)

其二、カ九師團六廿五日特務曹長以下四十八名ノ死傷アリ

其三、校廿八砲砲北砲台ニ對スル射撃ハ其効力多大ニシテ甚シク凸角附近ヲ破壊シ又砲門ヲ破壊シテ  
北砲台ヨリスル敵ノ反對坑道ハ二条ニテ尚共作業ヲ継続シツアルカ知シ當日カ土師團六下士卒十三名ノ  
死傷アリ

五、昨夜沙河方面ノ情况ニ關シ總參謀長ヨリテ通報アリ

第一軍及カ西軍方面ハ一概ニ静粛ナリ、梅澤旅團ハ明廿七日金鐘ノ敵ヲ驅逐スル筈

第二軍方面ニ在リテハ昨夜十時三十分頃敵ノ官林堡方面ヨリ砲ヲ以テ張良堡ヲ射撃シ又

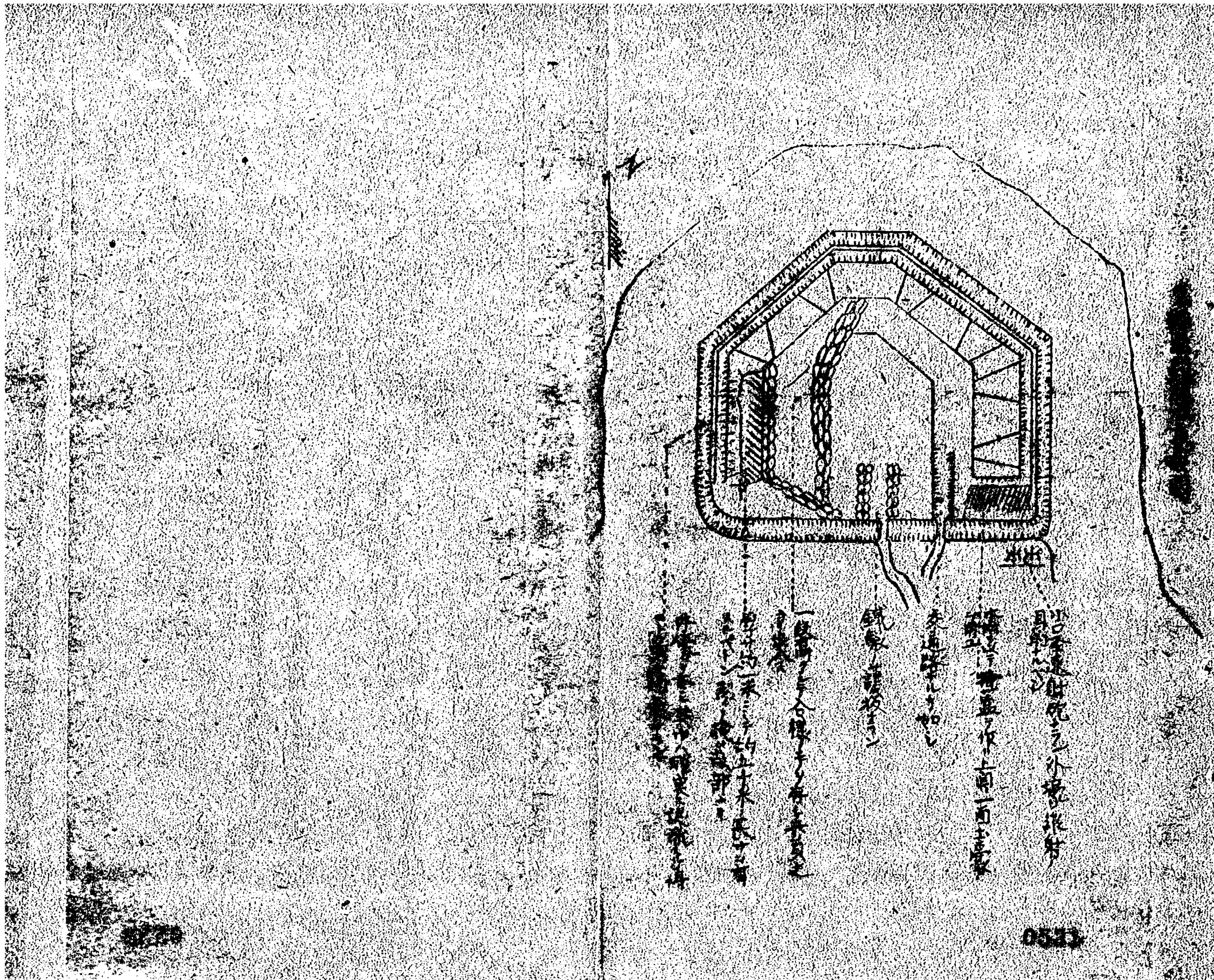
同時ニセウガイリシト附近ヨリ野砲ヲ以テカ四師團ノ右翼ニ向テ射撃シ約一時向テ中止セリ我

死傷兵卒三、此方面ニ於テ其後ノ情况大ニ變化ナリ、秋山支隊ノ方面モ昨日來極

テ静粛ナリ

第三軍參謀長伊地知章ハ

0530



東郷道一注

大城砲兵司令部

十月二十日砲兵中尉愛田英郎より東郷冠山北砲台偵察報告

徒歩砲兵第陸隊長御影池友邦

東郷冠山北砲台偵察報告

一盤龍山東砲台より東郷冠山北砲台を見れば結果左如し

砲台西側面は厚さ一メートル長廿五メートル見れば一層の掩蔽部あり銃砲台  
二層の射撃スル直下は一層の掩蔽部避難の模様あり

胸牆六九メートル幅あり内部様子を見れば得ず

中央一段高き部分あり前右渡り一帯土裏に厚積りあり下部空通

路あり

一 大孤山を見れば結果

東側面胸牆上三メートル高の土囊が厚積りあり深内部分見れば能く東

側面南端一段低い以て板材を用いて接合所あり者遠居り此部

分は炊事場等あり如し(平常煙突部分)

外壕は全周真咽喉部三箇所あり三箇所橋梁を用いる者如し現見

七八二相見

砲台中央部後橋梁は鐵製護板を用いて銃台盤龍山ヨリ射撃對

遊撃隊者如し

砲臺西側を除く外各面胸牆上三箇所砲門を見れば備砲あり其

の認め

砲臺北側砲台砲撃スル内部は中央突角中央延長線上(王家側)

砲台見及し砲臺西側面上射撃スル効果著しきなり

外壕は後未砲撃スル餘程破壊あり砲台咽喉部は砲台中央より稍

東に偏在者如し

砲台深さ百五十メートル

東郷道一

0532

第三軍通報 十月廿八日午前十一時

廿六日夜九時三十分ヨリ二時五十分迄ノ間ニ松樹山中腹ノ我散兵壕(今日午後五時頃奪取トスルモノ)ニ向ヒ前田敵兵逆襲シ来リ激烈ト戦闘ヲ交クル後十悉ク之ヲ撃退シ敵ハ死傷約千ヲ戰場ニ残セリ之ト今時ニ椅子山・柴子山等ヨリ猛烈ナル砲火ヲ受ケ多散兵死傷者ヲ算シ

今日ヲ師團長將校戦死一員傷八下士卒死傷百零四名アリ  
又々今日九師團ノ二竜山斜堤上ニ於テ損傷ハ戦死將校五員傷六下士卒死傷三百三十五名(内三十一名ハ盤青山砲台ニ生シモトスアリ)敵ノ死傷ハ是ヨリ多大ナリナラン

二才師團ノ中央隊ハ廿六日夜ヨリ海鼠山東北角方面ヨリ手見溝北方高地ニ向ヒ対壕作業ヲ開始シ  
尔後此工事ヲセント呼フ又々此高地ニ対スル作業ハ着々進捗シツヤリ

三才上師團長報告ノ要旨ヲ摘出スルニ如シ  
東鷄冠山北砲台ニ向ヒシニ条ノ坑道(中右方毛)ハ昨廿七日午後一時三十分頃敵ノ爆發スル処ヨリ死傷者七名ヲ生セリ

東鷄冠山砲台ニ対シテハ廿六日來直線攻路ヲ鉄糸網ノ線追進ノ又々砲台前ノ鉄糸網

約五十米ヲ切斷セリ我重砲射撃ノ効力頗ル大ナリ  
今日將校以下十一名ノ死傷者アリ

四攻城砲兵司令官報告ノ要旨ヲ摘出スルニ如シ  
其一 廿六日夜敵ノ軍艦ニ向ヒ三十餘機番局ニ向ヒ二十餘ヲ射撃セリ又々今夜二竜山砲台ニ向ヒ

十二條松樹山ニ向ヒ十六發 東鷄冠山北砲台ニ向ヒ十餘發射セリ  
其二 昨廿七日指定ノ目標ニ向ヒ射撃シタル彈數並ニ命中彈ノ關係尤ノ如シ

其六 昨廿七日指定ノ目標ニ向ヒ射撃シタル彈數並ニ命中彈ノ關係尤ノ如シ



砲台	目	標	発射弾数	命中弾数
姜家屯砲台	二竜山砲台		一 二 四	(最善射撃ハ一)
王家屯砲台	東鶏冠山北砲台		六 九 外 三	四 四
田山子砲台	東鶏冠山砲台		七 〇	四 五
碾盤溝砲台	松樹山砲台		六 〇	(最善射撃ハ一)
鞞泉屯砲台	白銀山北砲台		三 三	一 六
計			三 五 九	二 二 七

其三陸戦重砲隊ハ廿六日ノ夜ハ十二所砲門ヲ以テ二竜山及松樹山砲台ヲ射撃シテ敵修復工事ヲ妨害シ昨日八椅子山、紫子山、白玉山、松樹山、二竜山等ノ諸砲台並ニ造船場、軍艦等ヲ射撃セリ其四以上射撃ノ効カ好良シテ東鶏冠山砲台ノ砲門ヲ傾斜セシメ二竜山ノ重砲一、輕砲二機、砲二門ヲ破壊シ松樹山砲台ノ重砲二門ヲ毀損シタルガ如ク其他掩蓋、掩蔽所ヲ爆撃シタル者少カラス

再昨夜砲隊參謀長ヨリ沙河方面ノ情况ニ関シテノ通報アリ

中軍方面ハ昨夜來今朝三旦リ情况變化シ本日オ士二師團及近衛師團ノ協カヲ得テ梅沢旅團ノ午後四時過至頭山ヲ占領セシ其情况未詳ナラス諸兵連合ノ總隊塔山東才約五百米、無名部落ヨリノ砲台ノ方ニ前進セリ數日來コウザレシ附近ヨリ塔山ノ桑葉子ヲ經テ砲隊陣子ニ直線ニ敵砲隊ノ往復スルヲ見ルモ其砲隊ハ多クノ陣騎ヨリ成リ以テ

0534

多分給養繼列待後をモナシ

第四軍前面 情況ハ昨夜來變化ナシ

昨夕六時ヨリ七時ノ間ニ於テ敵ハカニ軍ノ前面ヲボクトシ林威堡方面ニ向ヒ緩徐ニ砲撃ヲ

ヲ行ヒ千石九時頃ヨリ更ニ各方面ニ向ヒ砲撃ヲナシ午後十時頃迄連続セリ今朝四時頃

敵ノ歩兵約ニ中隊張良堡方面ニ夜襲シ来リ今村藪才約五百米奥ニアル無名部落ニ

達スルヤ我射撃ヲ受テ其大部ハ拂曉武鎮台ニ退却シ其一部今朝至ル迄尚敵

落ニ残留シ居リタルモ未夕其後ノ詳報ニ接セス

本日ヨリ遼陽烟台間列車運轉ヲ開始ス

オ三軍參謀長伊地知 幸介

0535

第三軍團

報十月二十九日午後五時



一、野戦砲兵隊三旅團長報告、要旨大に如し

二十七日松樹嶺、谷地ヨリ旅團方向ニ退却スル敵兵ヲ射撃シテ其兵六名ヲ斃セリ又此日刘家溝附近ニ現出スル敵ノ野砲ヲ狙撃シテ其サノ損害ヲ喫ヘタリ

二、敵砲台ノ外岸破壊ノ目的ヲ以テ攻取工兵隊ニ於テ爆薬草七を以テ創製シ各工兵隊ニ分配シテ其効力ヲ実験セリソノアリ

三、第二師團長報告、要旨ヲ摘出スルニテ如し

二十七日午前五時頃敵兵約三十名松樹山中腹ノ我歩兵最前陣地ニ集結セシモ且シテ我歩兵ヲ退セリ

二十七日、夜十時頃敵後軍十九營附近ニ火災起リ約一時間ニシテ鎮火ヲ免鉄山嶺順間支那車輛ヲ往復ハ此頃兵六十輛ヲ撃入

皆下士卒死傷四十一名ナリ

四、第九師團長報告、要旨ヲ摘出スルニテ如し

其、二竜山砲台前ニ於テ我軍ノ敵ノ防壁ヲ破ルニテ最モ甚シク其尤ナルハ松樹山嶺立家嶺附近砲台トシテ松樹嶺附近ノ谷地ニ在リシ敵兵二十七日、夜十時頃敵兵約八十名午後三時頃ヨリ漸次南方ニ退却ヲ始メ我軍之ヲ狙撃シテ其兵約四十名ヲ斃セリ此夜敵兵約十名我軍頭ニ集結セシモ我軍直ニ之ヲ撃退セリ

0536



其ノP. 堡壘ニ対シテ作業ハニテ百ノ夜堡壘漸ニ歩天障地ヲ構成シ猶カ之ヲ進メツツナリ

其ノ四日我死傷下士卒百。三名ナリ、其ノ上師田長報等ヲ要旨ヲ掃討スルコトカ一カシ

東雜冠山北砲台前ニ砲ヲ去リテ二十七日午後一時三十分頃敵ノ爆発シテ砲臺ハ中至甚々大ニシテ(約二〇米)西南ベトニ体ノ全弁ヲ露出スル至レリ之ニ於テ日夜ハ談ベトニ体ヲ破壊スル目的ヲ以テ勇敵下士以下四名ヲ撲シ一月ノカワル前ニ先ツ六〇名ヲ以テ是ヲ破壊セシメタルニ其結果良好ナリシヲ以テ更ニ三〇名ヲ以テ大爆破ヲ行タルニハトニ体ハ全ク敵ノ外岸ノ爲ニ害ナリシ事ハ此時機ヲ利用シ談等ヲ奪取シ巨砲セトシエ兵中隊長ハ作業隊ト協議シ上七五名ヲ以テ高一米五中三米ノ破壊孔ヲ穿クシ同時ニ作業隊ヲシテ之ニ面スル攻路ヲ掃蕩シ午前五時ヲ以テ右室ヲ巨砲セリ然ルニ敵ノ左室ヨリ機ニ爆薬ヲ投シ或ハ射撃ヲ以テ談等ヲ害内外ノ交通ヲ妨害セリ故ニ左室ヲ噴火シ右室ヲ引揚ケ以テ機関砲ヲ攻路ニ面スル破壊孔ニ向テ砲ヲ射撃セシメタリ此破壊ニ從事セシエ兵軍曹大倉右三郎以下四名ノ勤作ハ敵ノ勇力ニ破壊作業ニ従事セリ

東雜冠山砲台前ニ稍々大ニ外壕ナリテ側防機関砲ヲ有スルカ如シ同日我死傷下士卒十名ナリ

六、砲台司令官報告ノ要旨左ノ如シ

一、三百一十夜二十八砲砲ヲ以テ軍艦及機噐兵ニ向テ二十發宛ニ竜山砲

三十一發、松樹山ニ向テ二十發ヲ發射セリ

其二、砲台ヲ以テ二十台施行シテ射撃ノ重キハ左ノ如シ

209高地ニ向テ三十三發(命中十六發)、松樹山ニ向テ百六發(命中六十九

發)、東雜冠山砲台ニ向テ百十發(命中六十六發)同北砲台ニ向テ七十

一發(命中六十發)ニ竜山ニ向テ百二十三發(命中六十發)

夕津軟重砲隊ハ同日西太陽滿、橋子山、安子山、松樹山東港内及回市

街ホテ射撃シテ十カナル損害ヲ与ヘ救固火災ヲ起セリ

三、射撃ノ効力ハ概シテ好良ニシテ橋子山砲台ノ火砲二門ヲ毀壞シテ他

僅聖砲台ノ掃築物ヲ破壊シタルモノゾナラス

七、沙河方面ノ戦況ニ関シテ昨日總參謀長ヨリ左ノ通報アリ

昨日第軍ガ歪頭山ヲ占領セシ際ニノ守備セシ敵ハ粗撃半歩六第大

隊隊ノ大隊ニシテ頗ル頑強ニ抵抗セリ我擧兵死傷約百六七十達

セシナラン此戦闘ニ於テ機噐砲二内ヲ南ニ獲セリ敵ノ損害ハ未詳ナリ

シクニ我ト同等ナルベシ今朝午前十時頃迄敵ハ猛烈ニ歪頭山ヲ射

撃セシガ午後三時全ク砲撃ヲ止メ康大山附近ニ集合シヤリシ敵ノ大

た九部隊及辺牛岳堡北方ノ高地端ヲ巨領シヤリシ敵ノ監視兵ハ全ク其  
數ヲ隠滅セリ。第四軍前面ノ敵ハ昨夜素大ナル變化ナシ。第  
二軍ハ昨夜戦利十冊知半加農ヲ以テ四方台附近ニ向テ威赫砲撃ヲ  
為シ今朝素更ニ敵ノ工事ヲ妨害スル目的ヲ以テ砲兵三道岡子沙  
河堡及包河家子方面ニ對シテ射撃セリ。又昨夜素素良堡北方無  
名部落ニ圍着シタル敵ノ残兵ヲ砲撃セシメ敵ハ回轉ノ模様アリシモ  
西ニ向テ圍着セリ。要スルニ敵ハ十冊知砲及野砲ヲ以テ砲兵隊  
一線及内部ニ向テ射撃スルニ思ハスニテ活動スルノ模様ナシ。午前十  
時頃ヨリ敵ノ歩兵一大隊連連化ト官林堡トノ中間部落ヨリ西南ニ  
向テ前進シ其後方ニハ約四敵ノ敵歩兵下リ第四呼回ノ砲兵ハ之向  
テ射撃セリ。秋山工隊ノ報告ニ依リ孟達堡瓜加台附近ノ敵ハ  
一支隊ニシテ其大部隊ハ北方ヨリ日々來ルモノノ如シ。渾河右岸及支  
隊前面ニハ敵ノ大部隊進出スルノ模様ナシ。

0539

ハ在營口吳倉少佐ヨリ露國バルチック艦隊ノ暴状ニ関シ昨日在通報

ル

アリ  
ロイテル十月二十日倫敦電

バルチック艦隊ノ襲撃艦四隻ハ西班牙ノゴゴニ到着シ残余ハ之ニ続行  
ス。駐英露國大使ハ英国外務大臣ニ露國ノ田舎ヲ手渡セリ其暴  
ニ於テ露國政府ハバルチック艦隊ノ無法行状(是ハ同艦隊ガ二十日  
北海航行中夜英國ノ漢船三隻ヲ撃沈シ二隻ニ大損害ヲ與ヘ多  
數ノ死傷者ヲ出シ其後連日ヲ以テ前進セシメトシ云フ)ニ對シ非常  
大遺憾ヲ念ヲ表シ且團僚者ヨリ報告ヲ得タル後尤亦大損  
害賠償ヲ約束セリ。英國人民ノ激昂尙熾ニシテ如何ナル露國ノ面  
答ニ責任者ノ處罰ヲ約束セザル者ニ對シテ満足スルニ能ハズト云フ  
。英國海軍省艦隊部内ハ若キ活動ヲ示シ造船所ニ於テ八日夜  
繁忙ヲ極ム。露路都ニ於テハコリスレーフガ遠カラズ還ルナラント噂  
セラル

第三軍參謀長 伊地知幸次

第三軍通報

十月三日午後九時



一昨廿九日午前五時十五分頃敵兵約百名松樹山ノ我攻路ニ襲撃シ来リ我守兵ハ中隊長以下殆  
ト死傷シ其散兵壕ハ一時敵有ニ掃セシカ全日午後一時二十分頃我兵砲火ノ掩護ニ依リ突進シ由  
ヒ之ヲ奪還セリ此際敵ノ遺棄シタル死屍ハ約百ニ達セリ

二全午前五時十分頃約百名ノ敵ハ龍山前ノ我散兵壕ニ来襲セシモ多大ノ損害ヲ蒙リ撃退セ  
レタリ又夕金山砲台東北角附近ノ側防穹害ハ其一部ヲ破壊シタルモ備砲ヲ毀損スルヲ能ハザリ

此日カ九師田ハ戦死將校ニ員傷一ノ下士卒死傷六十二名アリ  
三カ土師田ハ東鷲冠山北砲台ニ対シ敵ノ妨碍ヲ冒シ昨夜外岸ノ側防機關ヲ破壊シタリ当日死  
傷下士卒十六名アリ

四本日ハ隊定如ク砲撃成果ヲ俟テ午後五時五分頃カ土師田ハ東鷲冠山砲台及全北砲台  
砲台ニ向ヒ敵火ノ害ヲ冒シテ前進シ其先頭ハ目的矣

砲堡堅ヨリスル敵火ノ為ソカラサル損傷ヲ蒙リ其位置ヲ守備スル能ハサルに至リテ退テ  
後方斜面脚ニ掘リ又北砲台ニ在テハ外壕内ニ於テ彼我其占領ヲ有ラザルヒツマリ

カ九師田ノ左翼隊ハ午後七時七分ノ堡壘盤沓山東砲台ト東鷲冠山北砲台トノ中間ニ在リ堡  
壘ニ突入シ敵火ノ害ヲ冒シテ其占領ヲ確實セシ目下工事中ナリ

カ一師田ノ右翼隊及カ九師田ノ右翼隊ハ松樹山及ニ龍山砲台ノ外壕内ニ在リ側防  
機關ヲ破壊シ其通過法ヲ容易ナラシメツマリ明朝迄其作業ヲ完了シ愈々突

撃ヲ實施スル旨ナリ本日カ九師田ハ將校以下約二百名カ九師田ニモ粗ホ全數カ土師田ハ

撃ヲ實施スル旨ナリ本日カ九師田ハ將校以下約二百名カ九師田ニモ粗ホ全數カ土師田ハ

将校以下約千名ノ死傷者アリ

五昨夜沙河方面ノ戦況ニ関シ總參謀長ヨリテノ通報アリ

才二軍方面ニ於テハ昨日其影ヲ隠滅セシ敵ハ尚從來ノ位置ニ在リ確實ナリ昨夜敵ノ前部

隊塔山向ヒ逆襲シ来リシモ直ニ之ヲ撃退セリ其他情况變化ナシ

今朝三時才十師團前部ニ在リコウレンニ向ヒ敵師團ノ九翼隊ヨリ歩兵五中队ヲ出シ之ヲ

奇襲シテ諛村落ヲ占領シ敵ノ強襲モ家屋ニ放火セリ蓋シ此村落ハ彼校前哨線ノ中間ニ在リ

夜間屢々我前哨ヲ騷乱セシル爲メ敵ノ據点トナセン知ナリ

昨夜土時頃兵力未詳ノ敵兵三道關子ノ高地ニ進襲セシモ直ニ之ヲ撃退セリ

才二軍ノ才四師團ハ張良堡ノ前才ニ在リ無名村落ニ固着セ敵ニ自本日砲射撃ヲ行ヒ之敵

ハ尚依然諛村落ニ固着シアルモ知レ

秋山支隊ノ報告ニ依リ昨日午前三時頃キコンカウガシダイハラホシ(北奇長灘ノ西北約

三吉米)附近ヨリ敵ノ砲兵約六門ヲエンダイノコクコウ外イ及ヒヒサイセンシニ在リ我守備

隊ニ向ヒ砲撃ヲナセルモ別ニ前進ノ模様ナシ又今時頃敵歩兵約一中隊ノ騎出陣ヲ

六門ヲウカンホニ乘リ北台子ノガシタンホリウセツコウニ方向ヲ射撃シ其騎夫ハ斷次我

前哨部隊ニ迫リシモ悉ク撃退セラレタリ

才三軍參謀長伊地知幸久

9/1

第三軍通報 十月一日午前七時半

一北海に於て露國波羅的艦隊ノ暴行事件ノ関シ諸種ノ通報ヲ參酌抽出スルヲ如シ

廿九日倫敦ロイテル電報ニヨリ英國政府ハ「ロイテル」(目下波羅艦隊所在地ナリ)ニ於テ審問會議ヲ開クコト決シ戰端ヲ啓クコトヲ避ケツアルカ如シ露國ハ「ロイテル」ニ碇泊中ノ波羅的艦隊ノ出港ヲ禁シ責任者タル將校ハ極東ノ出發ヲ見合セ審問ノ上相當處分ヲ為ス旨ナリ

英國ノ輿論ハ激昂ノ極度ニ達シ各政黨ハ一致シ十分ナル損害賠償ヲ要求スルヲ議米リ諸新聞ハ拳ヲ露國艦隊ノ此舉動ヲ非難シ甚キハ「斯」如ク神至過敏トナリタル艦隊ニ自由行動ヲ為サシムルハ世間ノ平和ニ危害ヲ來スノ恐アリト論スルモアリ

今日露國艦隊ノ行動ニ関シテハ英米ハ勿論佛等ノ諸國ニ於テモ非難ノ声甚クナリ其新聞ノ如キハ及令彼等カ極東ノ海面ニ達スルアルモ試船ノ如ク忽チ海中ニ埋ラルヘト論評シタルモアリ

露國ノ公報ニ依リ今艦隊司令長官ヨリニ面送呈スル公報ハ「ロイテル」電報ニ示スモノト大差ナレト

二第一師田方面ノ情况概要九ノ如シ

右翼隊方面ニハ此頃野砲及機關砲ホ増加シ去三十日夜ノ如キ敵兵約五十名許ノ來襲アリテ三土日朝ニ至ルマテ戰線ヲ經統シテ退却セリ

中央隊方面ニ在テハ砲高地ニ對シ毎夜工事ヲ進メ鉄条網ヲ破壊スルナリ其進捗大ニ見ルヘキモノアリ又タ今高地ニ向ヒタル砲臺ノ威力ハ頗ル強大ニシテ敵ヲシテ其破壊部ヲ修復スル

企圖ヲ断念セシメタルカ如シ幸見溝北方高地ニ對スル支路モ著ク進捗セシマリ  
 左翼隊方面ニ在ル松樹山外岸上ニ突撃陣地ヲ構成シ目下外壕ノ側防機関ノ破壊ヲ努ム  
 マリ諸偵察ノ結果ニ依ルハ凶角附近ニ於テハ壕中約八米深サ約六米ニテ外岸ハ垂直石垣  
 ヲ以テ構成セラレ此ニ側防筐舎アリ砲台軸線ニ沿フ暗路ニ依リ之ニ通スルカ如シ  
 三カ九師團方面ノ情况概要尤ノ如シ  
 右翼隊ハ既ニ赤山砲台北面ノ上部側防機関(上下三重ノ側防機関アリ)ヲ破壊セシモ下部  
 モノ尚ホ存在スルヲ以テ目下之ヲ爆破ヲ努ムアリ諸偵察ノ結果ニ依ルハ此附近ニ於ケル壕中  
 ハ約十五米深サ約七米ニテ山嶺ノ側壁ヨリ成リ我ニ專断ル困難ナリ然レモ我兵ノ銳意  
 熱心ナル作業ハ著ク其歩武ヲ進メタリ  
 左翼隊方面ニ在テハ去三十日ノ夜敵兵屢々砲自向テ逆襲ヲ行ヒオ三回(午後十時半頃)ノ戰  
 闘ニ於テ我守兵ノ大部死傷シ一時敵ニ奪還セラレタリ然レモ戸少將ハ自ラ散兵線ヲ指揮  
 シテ直チニ勇進シ午後十一時ニ再ヒ之ヲ奪取セリ此戰闘ニ於テ我死傷ハ約二百五十名ニ  
 テ今ヤ其占領ハ全ク確實ナリ  
 四カ土師團ニ於テハ昨日午後五時頃東嶺山北砲台ニ向テ突撃ヲ行ヒ東部頂斜面ヲ占領シ午後八時頃  
 ニ逐次増加シテ約五十名トナリ一オハ其位置ニ工事ヲ施シ他方ハ壕底ノ通路ヲ安全トシ  
 アリテ昨夜中ニハ全部ノ占領ヲ勉ムル旨ナリレモ未タ其城ニ至ラス

第三軍參謀長伊地知幸次



通報 五月廿五夜三時  
於柳樹房



九

第一師團長報告ノ要旨ヲ摘出スルヲ左ノ如シ  
去月三十日夜八時半頃敵ノ歩兵約四百名機関砲四門ヲ以テ後三幸頭村方  
向ヨリ前進シ来リ我右翼隊ト戦闘シ交ハシ二時頃逃却シ此戦闘ニ於テ千原  
歩兵少佐軽傷ヲ受ヒ其他ハ目下調査中ナリ又高地ニ對シテハ今夜更ニ鉄  
條網ト米許ヲ破壊セリ

左翼隊方面ニ在リ三十一日夜松樹山砲台外崖(側)隊機関ヲ破壊スル爲メ築坑  
路ニ米五十ノ塹下ニ引籠キテ陣中ナリ其他敵ノ銃砲火ヲ冒シ步兵陣地交通路  
等ヲ構成シツヤリ我死傷俘獲以下約三十五名ナリ敵ハ主震以テ應急工事  
ヲ施シ更ニ野砲一門ヲ増加シ兩散弾射撃ヲ以テ我工事ヲ防碍ス水師堂(北極  
堡)附近ニ降兵人ヲシキモイニ名アリ

二、攻城砲兵司令部報告ノ要旨ヲ摘出スルヲ左ノ如シ  
去月三十日十八時砲ヲ以テ港内ノ軍艦ニ向ヒテ五發ノ散布射撃ヲ行ヒ初リヤ  
号ニ向ヒテ三發(余中三發)運送艦四隻ニ向ヒテ八發(余中十發)マリニ度ヲ撃沈  
セリ)ヲ發射セリ又陸戦重砲隊ハ今日迄トシテ造船場、白玉山、而南側ノ敵艦  
ヲ砲撃シ駆逐艦一隻ニ多少ノ損害ヲ與ヘ鼻頭附近ニ火災ヲ起シメタリ  
昨(日)十八時砲ヲ以テ三荒山ニ向ヒテ三發(余中十發)松樹山ニ向ヒテ八發(余中十發)

港内ノ運送船ニ向ヒ二十餘(命中)ヲ發射シ三十九百噸停流船ニ度ヲ撃沈  
シ其他ニ多クノ損傷ヲ與ヘタリ又陸戰重砲隊ノ港内ノ軍艦ノ造船場  
新市街等ニ向ヒ砲撃ヲ施行セリ

三、第九師團ノ諸隊ハ三十日夜ヨリ盤詰山東砲台針巻山等ヨリ悉ク前進  
攻路ヲ堀伸シテアリ一戸堡壘ノ占領ハ今ヤ屋々確實トナレリニ龍山ニ對スエ  
重砲火ノ官ヲ冒シテ銳意進捷ヲ計リツアリ

當日將校以下三十六名ノ死傷者アリ

四、第二師團ノ東嶺山北砲台ニ對ス攻撃ハ徐々ニ歩武ヲ進メツアリ又夕既ニ占領  
シタル部分ヲ漸次保守確實トナレリ又昨夜ハ砲台ニ對シ攻路百八十米ヲ  
堀伸セリ此日死傷者將校以下百九十六名ナリ

五、第三師團ノ謀長ヨリ北方ノ情況ニ關シテ通報アリ(三十日午後七時發)  
去三日前ヨリ若干ノ偵察戰ヲ試ミシニ敵狀ニ大ナル變化ヲ認メス三十日午前彼  
我砲兵戰ヲ交ヘシニ我ノ損傷ナシ

第三師團 謀長 伴地知幸介

七

通報

十月二日午後五時  
北園重光東軍電

當司令部々復佐藤綱次郎ハ大佐ニ昇進シ

タル者本日電報アリタリ

攻城砲兵司令官豊島陽藏

攻城砲兵司令部

0547

72

一本日中決戦後、東部方面の各部隊は、死傷甚多、及砲台の破壊等、其概要を如し

一 東陽冠山砲台 (突撃部隊、先頭等、一旦砲台に進入して、安兵三十年防波) 別紙雑記参照、敵兵壕及び二個外壕、全砲弾、及砲台約、米、深さ有る西岸、緩徐、斜面より超越容易、砲撃後、その、ハ字兵、其見、且、退却、し、西砲台中、東陽冠山、砲撃、砲撃、其内部、煤煙、及、投擲、多、大増害、其、火砲、在、東、門、一、砲撃、ハ、破壊、し、り、大、増害、山、依然、し、砲台、進入、ハ、圍、破、し、り、砲火、受、大、増害、及、投擲、多、退却、し、東陽冠山下、先頭部隊、(砲台、砲台、連、続、統、計、隊、の、中、隊) 到着、し、先頭部隊、は、先頭部隊、一、人、突、撃、し、退却、し、り、他、連、隊、も、退却、し、り、ハ、下、隊、後、統、計、隊、到着、し、北、砲台、東南、方、機、關、砲、撃、路、上、全、城、上、を、佔、領、し、以上、如、く、其、兵、部隊、が、砲撃、し、死傷、甚、多、し、り、砲撃、し、

0548

要するに突撃隊の陣地は充分に射撃を以て守らるべきこと

一 砲台 (突撃隊の陣地は充分に射撃を以て守らるべきこと)

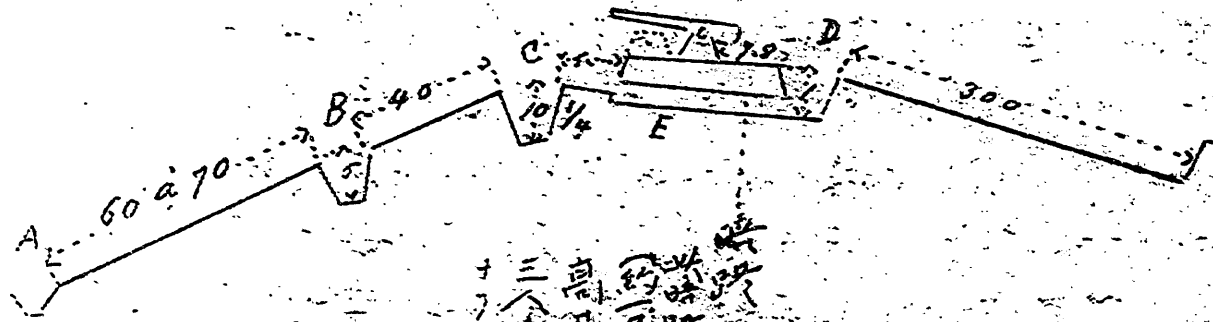
別紙の如き周囲散佈未だ充分破壊し不敵目標中火砲  
所に地掩蓋原状に射撃車等配置し隊員は砲台に向て部隊退却せし  
まずて我砲隊の砲台は受けて砲台の破壊を以て隊員は退却せし  
隊員は砲台を以て守らるべきこと  
次に砲台の破壊は隊員は砲台を以て守らるべきこと  
次に砲台の破壊は隊員は砲台を以て守らるべきこと  
次に砲台の破壊は隊員は砲台を以て守らるべきこと  
次に砲台の破壊は隊員は砲台を以て守らるべきこと  
次に砲台の破壊は隊員は砲台を以て守らるべきこと

三、北砲台 (田舎澤の防壁)

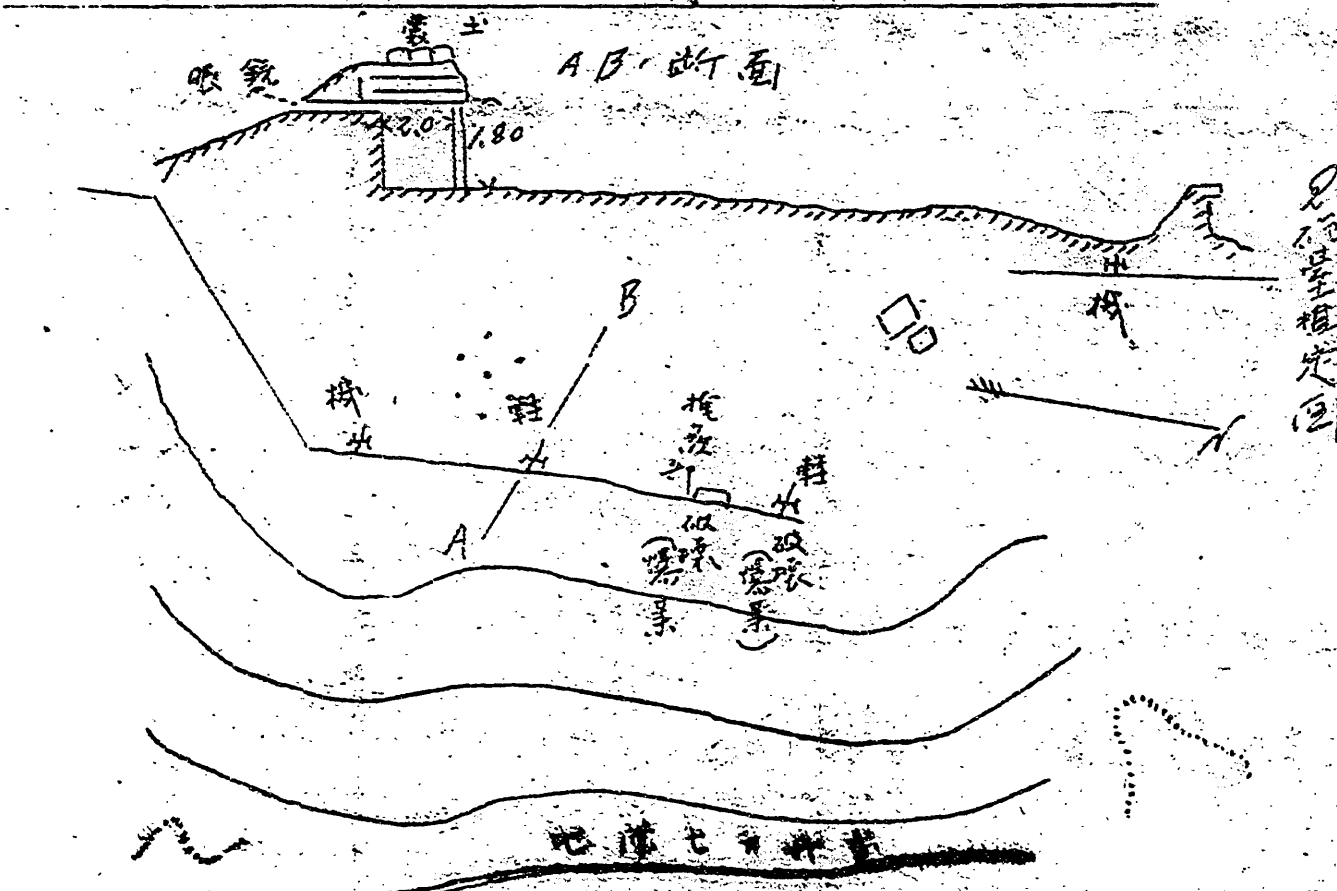
且外岸砲台告退入子一室の破壊を以て破壊し不敵目標中火砲  
及び砲台の周囲散佈未だ充分破壊し不敵目標中火砲  
及び砲台の周囲散佈未だ充分破壊し不敵目標中火砲  
及び砲台の周囲散佈未だ充分破壊し不敵目標中火砲  
及び砲台の周囲散佈未だ充分破壊し不敵目標中火砲  
及び砲台の周囲散佈未だ充分破壊し不敵目標中火砲

田舎澤  
河津川大佐

秦皇島山石堆墳圖



此  
以  
時  
路  
約  
一  
尺  
高  
約  
三  
米  
中  
有  
三  
八  
並  
列  
之  
石  
分



第三軍通報 二月三日午後四時

九師團方面、情况概要ヲ知ル

高地及寺見遺跡北方高地ニ對スル對壕ハ斷次連接シテアリ

松樹山砲台ニ對シテハ昨日午前四時半頃約四米ヲ掘下シテ入り管頭ニ達セシメテ外岸

砲室ヲ破壊スル為メ目下扇南ニ向テ攻路ヲ掘下シテ入り我作業ヲ妨礙スルハ

重トシテ大橋子山、柴子山、松樹山南才独立家屋附近、砲台ニ就山松樹山、機関砲

及ニ就山南方高地等ノ諸砲台ナリ

一日ノ夜降参人ノ一名ニ由リ書翰並ニ勸降書(兵卒等ノ)ヲ携持セシメ放逐セシメテ午前

二時頃再ヒ還リ來リ其結果ハ未ク詳カラス

九師團方面ノ情况概要ヲ知ル

川砲台ニ在リ十五班伍ノ敵砲台依然存存シ我東砲台及才土師田方面ニ危害ヲ與フルコトナラ

ス 二就山砲台ノ外岸頂ニハ昨夜深サ約五米ノ貫攻路ヲ掘下シ尚餘ニ何ノ攻路ヲ掘削シテ

リ鉢巻山ニ龍山間ノ谷地於テハ廣擊陣地及之ニ通ル攻路ハ粗ク完成シ又ハ砲台頂部

五十米、西砲台ヨリ約二十米ノ攻路ヲ進メ一戸堡壁ヨリモ工事ヲ進メルカク尚餘無傷敵

死七員傷者十五名アリ

此ノ要地ニ在リ九師團ノ攻勢約諸事ハ敵ノ妨礙ヲ致シ大ニ危殆ヲ及ス其結果ハ未ク詳カラス

キモアリ

三才土師田ノ北砲台機関砲台ニ在リ九師團ノ攻勢約諸事ハ敵ノ妨礙ヲ致シ大ニ危殆ヲ及ス其結果ハ未ク詳カラス

0551

置ヲ掩テ更ニ土胸墻ヲ築キ砲臺ノ爲メ計煉成リ攻道ヲ導ク事ニ當リ攻路ヲ備ヘテ砲臺ヲ築キ砲臺ノ爲メ計煉成リ攻道ヲ導ク事ニ當リ

四、攻城砲兵司令官報告ノ要旨ヲ摘出スルニ如シ

昨日午散土時ト今十時ノ間ニ砲兵司令部附近ニ大ニ爆破シ其状況火兼庫ノ爆破ニ似

タリ(本件ハ先師團ヨリ砲兵司令部ノ報告ナリ)又今午十一時海軍砲兵教場附近ニ約八十

ヲ發射シ午時ノ時其勢余砲臺ノ火兼庫ニ倒テ爆破シ

二十八冊砲ハ昨日西港内ニ在リ二機一機ノ汽船(毎午九時至十時)ノ警況セリ之

テ合計五隻ノ汽船ヲ撃沈セシメリ

五、先師團ニ於テ降参人ヨリ訊問シタル調書左ノ如シ

一、汝等カ今朝見テ砲兵守備ニ就キテ何時降参スルヤ

答、守備ニ就キテハ今月以前ヨリ以前ヨリハ工事ヲ堅固ニ改造セリ

二、堡壘ニ就カサレ兵卒ノ登崩ノ休憩場ハ何處ナレヤ

答、旧松樹山砲台ノ北面山麓ノ掩蓋内ニ休憩シアリ

三、今朝見テ砲兵守備隊長ハ何官ナレヤ又将校ハ何名ニシテ

答、元ハ要塞砲兵大隊カ砲兵守備隊長ナリ之ニ週間以前我砲臺ノ為メ夏備シ當時

軍大尉代リテ其隊長ナリ其砲臺ニ名ナリ

四、汝等カ彼ノ砲兵守備隊長ハ何官ナレヤ又將校ハ何名ニシテ

答、今朝來テ降参人ヨリ訊問シタル調書左ノ如シ

一、歩哨ノ警況セリ



五、先日来、戦、於、今朝、見、砲、名、死、傷、元、將、校、及、下、士、兵、卒、ハ、何、名、在、ト、ヤ、

答、將、校、戦、死、傷、名、無、ク、下、士、兵、卒、ハ、損、害、非、常、ニ、多、ク、テ、其、數、詳、明、ナ、ラ、ズ、

六、一、昨、日、彼、ノ、砲、多、ク、燒、ケ、タ、ル、ハ、何、也、ヤ、燒、ケ、タ、後、守、兵、ハ、何、處、ニ、棲、息、シ、居、ル、ヤ、

答、實、見、ハ、セ、リ、ト、シ、他、ノ、砲、置、六、火、藥、庫、ノ、多、ク、分、火、藥、庫、ノ、燒、ケ、タ、ル、ト、テ、若、キ、燒、

七、守、備、歩、兵、ハ、彈、丸、ヲ、何、等、位、持、テ、居、ル、ヤ、又、砲、彈、ハ、何、等、位、一、内、ニ、ル、ヤ、

答、守、備、兵、ハ、各、自、二、百、五、十、發、ヲ、携、帶、シ、居、リ、又、砲、彈、ハ、一、内、ニ、何、等、位、ヤ、詳、細、ナ、ラ、ズ、唯、一、發、ニ、非、常、

八、今、朝、見、タ、砲、自、南、側、ノ、砲、台、ニ、守、兵、ハ、何、名、在、ト、ヤ、

答、一、中、隊、ニ、シ、テ、狙、撃、兵、(第、十、中、隊)海、軍、兵、三、十、名、アリ、

九、汝、等、ノ、食、物、何、所、ヨリ、何、時、頃、守、地、ニ、運、ビ、來、ル、ヤ、又、守、兵、ハ、某、地、迄、食、事、ヲ、為、シ、往、復、ス、ル、ヤ、

答、食、物、ハ、日、改、頃、三、旅、順、リ、馬、ヲ、用、ヒ、砲、台、迄、運、搬、シ、來、リ、其、ヨリ、新、砲、台、ヨリ、廿、名、ノ、兵、ヲ、テ、收、領、

十、將、校、ハ、到、底、酒、ヲ、飲、ン、テ、出、テ、ス、ト、シ、テ、何、所、ヲ、酒、ヲ、飲、ン、テ、居、ル、ヤ、

答、松、樹、山、新、砲、台、内、ノ、掩、蓋、内、ニ、在、リ、テ、飲、酒、ス、ト、ノ、事、

十一、酒、ヲ、飲、マ、ス、元、氣、ハ、將、校、ハ、進、テ、戦、闘、シ、死、傷、シ、タ、リ、ト、シ、テ、何、人、在、死、傷、ト、テ、何、人、在、元、氣、ナ、ル、

將、校、カ、残、リ、居、ル、ヤ、

答、二、人、死、リ、殘、リ、居、ル、將、校、中、元、氣、ナ、ル、ハ、中、尉、一、名、ナ、リ、

十二、汝等モ酒及生肉ヲ渡サルヤ其量固ハ何程仕ナルヤ

答、酒及生肉ヲ給典サレタル事ハ以前ニシテ昨今更ニナシ

十三、ステツセル將軍ハ毎日何地ニ居ルヤ

答、戰陣中ハ黄金山麓ノ掩蓋中ナリ

十四、目下旅順口内ニ何名位ノ負傷者アリヤ

答、確實ナル事ハ知ラサルモ以前ノ話ニヨレハ一カ五千ノアリ

十五、汝等ノ戰友ニホーランド人、フィンランド人カ何名位アルヤ

答、戰友ニシテホーランド人其他約辨ニ魯人ヲ除キ全体ノ二分ノアリト

十六、日本軍ノ砲彈ハ能ク命中スルヤ之ニ處テ汝等ノ戰友ハ砲彈ヲ恐レテ居ルヤ

答、能ク命中スル後令ニ週前前松樹山旧砲台掩蓋中ニ在リ即死ニ將校又負傷セリト事ニ

テ一徹ニ恐レ居レリト云フ

十七、汝等ノ戰友カ何人位降参ト居ルト思フヤ捕虜ノ外ニ既ニ多数ノ降参人アリ皆捕虜トシテ日本ニ送ラレ厚キ待遇ヲ受ケテアリ

答、粗數ヲ云ハシ、汝等ノ兵ハ降参ト居ル由崩き入レタルモ其詳細ナリテ知ラズ

十八、汝等ニハ時々母國ヨリ音信アルヤ汝等モ亦父母ニ送信シ居ルヤ

答、目下音信人双方共ニ杜絶シ居レル為メ發着共ニナシ

十九、昨日軍港所ニ大ナル火災アリタリ何ガ燒ケタルヤ

答、陸軍倉庫ニシテ油類ナルモノ砲彈ノタメ火災ヲ起セリナリ

二十、汝等ハ今ヨリ日本ニ送ラレ日本ノ厚キ待遇ヲ得テ既ニ日本ニアル多クノ戰友ニ面會

レ平和ノ時ハ捕虜トシテ名譽ヲ負テ母國ニ歸ラレハシ  
卷、其一人ハ曰ク兄弟西米利亞ニ在ルヲ以テ本國ニ歸還ヲ望ムス速カニ日本ヨリ  
西米利亞ニ渡航セント志望トノ事

第三軍參謀長伊地知幸久

0555

九

去

昨<sup>去</sup>日<sup>九</sup>戰鬪於<sup>九</sup>步兵第六旅團長戸少將勇敢<sup>九</sup>動作<sup>九</sup>關シ

之ヲ大本營ニ報告セシ<sup>九</sup>參謀總長ヨリ左ノ電報アリ<sup>九</sup>特<sup>九</sup>之ヲ全軍

ニ布告ス

貴ニハ<sup>九</sup>戰況ニ於テP砲台奪還ノ際戸少將自ラ散兵

線ヲ指揮シ前進セリトノ勇敢ナル動作ハ特ニ褒内シテ之ヲ

伏奏セリ

自今P砲台ヲ一戸堡壘ト命名ス

明治三十七年十一月三日

第三軍司令官男爵乃木希典

0556

ル

第三軍通報 於 柳 梅 房



一、昨三月夜ヨリ丸珊砲三門ヲ水師營西滿附近、移シ毅前軍左營南方、交通路ヲ充分射撃スル爲メナリ又夕火石峯子附近ニ在リテ海軍砲六門ヲ水師營附近ニ移シ野戰砲兵第三旅團長ノ指揮下ニ屬シ松樹山ニ龍山砲台及其南方地區ニ向ヒ一層有カク射撃セシムル筈ナリ

二、第一師團方面ノ情况概要左ノ如シ

松樹山砲台、對スル工事ニ日午後二時三十分外岸頂ヨリ約五米ヲ掘下シテ空ヲ塞ミ、連シムルヲ以テ更ニ凸角ノ兩肩角ニ向ヒ雷攻路ヲ掘リ三箇々時ノ爆破スル筈ナリ、高地ニ向ヒ右翼隊及中央隊ハ各千米宛攻路ヲ掘進シ又夕寺見滿北方高地ニ對シテニ千五米ノ攻路ヲ掘長セリ

當日松樹山方面ハ下士卒十三名其他ノ地區ニ於テ七名ノ死傷アリ

三、第九師團方面ノ情况概要左ノ如シ

ニ龍山ニ對スル工事ハ猛烈ナル敵ノ防碍ヲ用レツ、三箇ノ雷攻路ヲ穿テツアリテハ一昨、深サ約四米(自然地ヨリ)計算シタルモノカ故ニ現斜堤ヨリスルハ約七米トナシ、他ノ一箇ハ約三米ニ達セリ、二百鉢巻山ヨリ三十米西砲台ヨリ十七米東砲台ヨリ十五米ノ穴、此下士卒戰死九名、負傷十八名アリ

四、第十師團方面ノ情况、關シ特記スニキ、ナシ、昨日ノ死傷僅ニ三名ノ過キス

0557

第一師團於テ降参人ノ訃聞ニテ得タル情報ヲ示シ

其一旅團ニ於テ新ニ砲彈ヲ製作スルノ能ハルモ現下尙支那時代ノ砲彈ヲ製造シ且

用シツアリ外部ヨリ輸入ハ此頃甚ク少シ

其二現下下士卒ニ肉類ヲ支給セザレバノナラズ一日ニ斤半定量ノ異趣也

今日ハ二作勝トナレリ將校ハ牛羊等ノ塩肉ヲ支給シ榮リシテ五日前日本軍ハ

ノ爲メニ糧倉倉庫ヲ焼カレンヲ以テ慈倉品ノ過半ヲ失ヘリ要タル倉物ノ

ラサル苦痛ヲ感シマアリ

其三旅團ニ現下砲隊備隊ナク各堡塁ニ各自ノ砲隊ヲ有スル

又昨日砲兵隊長ヨリ左ノ通報アリ

十月三日午後三時半ヲ發  
十月四日午後四時半ヲ發

第三軍系隊長

只今左ノ砲報アリタルニ付通報ス

砲司令官宛

陸軍大臣

天長節ノ際ニ盛大ナル觀兵式ヲ施行セシメ天氣極ク晴朗内外國ノ陪觀者

素ニ百倍ノ軍隊及ヒ國民ノ志氣頗ル旺盛ナリ此佳節ノ當リ同比各公團

テ國民後援會ノ大集團ハ滿洲軍ニ對シ熱誠ニ感謝ト連捷ノ祝言

ト萬歳ノ声天地ヲ震動セリ

第三軍系謀長 伊地知幸介

0558

九

第三軍通報

五月五日 敵土時年分

一 攻城砲兵司令官報告ノ要旨ヲ摘出スルニ九ノ如シ

其一、昨日廿八日砲台同ト三ノ敵(命中廿四発)ニ龍山同ト廿六発(命中廿三発)松樹山同ト九発(命中七発)東維冠山同ト十八發(命中十三發)ヲ發射シ掩蓋其他ノ構造物ヲ破壊シシカナル損害ヲ與ケタリ

又夕陸戦重砲隊ハ白山南麓ニ在ル敵ノ軍機西港、掉頭附近ニ在ル山嶽汽船、造船場等ヲ射撃セリ

其二、昨日三百廿八日砲台同ト三ノ敵(命中十九)東維冠山同ト十八發(命中十四)日砲台同ト二十發(命中八)松樹山同ト五發(命中四)ヲ發射シ東維冠山咽喉部附近ノ野砲一門ヲ破壊シタルガ外其他ニ於テモ多少ノ損害ヲ與ケタリ又夕陸戦重砲隊ハ東港内、造船場、元宝倉、松樹山、構造物等ノ望台背後ノ谷地等ヲ射撃シ東港附近ニ猛烈ナル火災ヲ起センノ約四時間燃焼セリ

野戦砲兵ヲ旅団ハ常ニ松樹山及ニ龍山ニ對スル枝作業ヲ妨碍ス敵ノ砲兵ヲ狙撃シテ夜軍作業ヲ容易ナラシメツベリ又夕去首ノ夕眼鏡山附近ニ於テ怪シキ支那人一名ヲ拿捕シ寔兵ニ引渡セリ

二 師団方面ノ情况概要九ノ如シ

松樹山砲台外岸爆破ノ為ニシテ工事ハ中央及九角角ニ於テハ所望ノ地處ニ達セシモ右角角ニ向テモノハ岩石ノ為ノ掘削大ニ困難ナルヲ以テ作業ノ進捗意ノ如ク去首砲台上ニ出汝ス敵兵ヲ狙撃シテ數名ヲ斃セリ

203高地ニ對シテハ右翼及中央隊方面ヨリ約二十餘米迄ヲ延伸セリ皆死傷僅ニ五名ナリ

四、九師團方面ノ情况概要九ノ如シ

ニ龍山外岸爆破ノ為メニスル攻路ハ中央部ノ一箇ハ所望ノ地奥ニ達セシモ其九方ニ在ルニ一箇ハ各ニ  
出會シ作業困難ナリヲ以テ位置ヲ變シテ更ニ二箇ヲ堀用シツヤリ支那旧團部ニ向テ攻路ハ鉢巻  
山ヨリ十二米、西砲台ヨリ三十米、東砲台ヨリ十米ヲ堀進セリ當日死傷下士卒二十名アリ

五、才土師團方面ノ情况特記スベキナリシテ、作業ハ少シク、進捗シツヤリ

注意

（本通報ハ秘密ノ取扱ヲ為スベキ性質ノモノナリ然ルニ或部隊（殊ニ小ハ）独立部隊ニ於テ  
ニ於テ其保管法確實ナラズ或ハ恣ニ下士卒ニ開讀ヲ許ス等ノ形跡アリテ他々軍ノ行動  
ニ不利益ヲ與スルアリ今各受配者ハ其取扱ヲ一層嚴密ニセラルヘシ

第三軍參謀長伊地知幸久



既令了り右通振アリ此義古事也

汽車便乗ハ將校全相當官並ニ其隨行者ニ別ニ証明書ヲ要セ  
ス之ヲ許可ス其他ノ者ニ在テハ各其所屬部隊官衙ノ証明書ヲ  
有スルモノニ限り便乗ヲ許可ス

但ニ証明書ハ往復二通ヲ交付スルヲ得ルニ決定セリ

昭和二十七年十月九日

第三軍多摩第六師団長 伊地知幸介

右市面覽上書尾ヲ市面却リテ之ヲ陸軍部員印  
證明書ハ司令部長官印上付之



0561

通報

十月六日午前十二時十分



一、攻城砲兵司令官報告要旨九ノ如シ

昨日二十八砲ヲ以テ東嶺冠山ニ向ヒ三十一發(命中十六)ニ竜山ニ向ヒ二十八發(命中十九)松樹山ニ向ヒ七發(命中四)横領市野ニ向ヒ七發ヲ発射セリ又陸軍砲隊ハ造船場、白山山麓及東港吹ノ軍艦ニ向ヒ四十九發ヲ發射セリ

火岩峯子附近ニ在リレニ所砲六門ハ砲兵第三旅團長ノ令下ニ入り去留砲兵第十六、第十七、第十八隊ノ陣地ニ三門砲兵令屬既置キレリ

二、野戦砲兵第二旅團長ヨリ九ノ要旨ノ報告アリ  
砲兵第十六隊隊長ノ報告ニ依リハ松樹山日砲台ノ独立家屋ヨリ西方ニ其後線ニ掩蓋ヲ有スル集火所四棟アリ松樹山附近ノ守兵ハ此ニ集火ス

三、第一師團方面ノ情况概要九ノ如シ

昨五日前五時頃敵ノ歩兵約五十名右翼隊ノ下士哨(楊樹房)ニ乘襲シ我下士哨ハ若干抵抗ノ後本防禦線ニ退却セシカ故モ亦ノ直ニ南方ニ退

0562

却り楊樹房六回日監視哨ヲ差遣スル也ナリ

209高地及孝兒溝北方高地ニハ敵兵工事ヲ始メ又々松樹山砲台ノ敵ハ我軍ヲ防碍スル為ノ西南部附近ニ來リ我兵ト射撃ヲ交換セリ

此日下士卒九名死傷アリ我軍進捗一度ハ詳カラス

又々同師團ニハ此日竹高地ノ東南側ニ於テ水雷四個(一個ハ梯火藥約四十吉

ヲ噴突シテ)ヲ發砲シ火藥ハ爆發ニ応用セリ

四第九師團方面ノ情况概要左ノ如シ

二竜山砲台外岸附近ニ於テ我軍無攻路ハ敵丸ノ為メ燒夷崩壞セリ復舊

工事ニ進級セリ積極的進捗又ハ龍龜山新砲台ニ向テ對壕ハ三層

ノ夜掩護陣地ヲ完成シ更ニ約千五米ノ攻路ヲ拓伸セリ

東西砲台及一戸堡壘ヨリ積極的作業ヲ為サスニテ補備乃至台領

作業ヲ施行セリ

東八里庄南方鐵道橋附近ヨリ西砲台至ル第二ノ交通路及一戸堡壘

ヨリ第十一師團方面ニ通テ攻路ハ着々進捗シテナリ此皆下士卒十九名ノ

死傷アリ

五第十一師團ノ北砲台ニ對スル作業ハ目下外壕ノ通路粗ク完成セシメ未ク

胸牆ヲ爆破スル中前室ヲ突進スルニ至ラズ

第三軍參謀長

保地知事外

九

明治三十七年十一月六日

第三軍司令官男爵乃木希典

昨自韓國

皇帝ヨリ差遣セラレタル副將權重顯

一行慰問ノ為メ當軍司令部ニ東リ慰問使カ

滿洲軍總司令官ニ傳達セル 勅語ノ要旨左如シ

勅語(要旨)

朕惟ミルニ我國ト日本國ト其勢齒唇ノ關係ニ屬シ  
兩國ノ厚誼兄弟モ帝ヲ奉ス今則義舉タルヤ 大日本  
皇帝陛下ハ一ハ自國ノ武威ヲ揮カレ一ハ友邦ノ獨立  
ヲ鞏固ニシ以テ東洋ノ大局ヲ維持シ以テ信徳ヲ世界  
ニ示サル嗚呼偉ナル哉且陸海軍將卒ハ忠愛勇敢進

0561

ムヤリテ退クアルナシ 朕甚ク之ヲ嘉ス  
 風雲烟霧ニ曝露スルノ艱難ハ誠ニ念ハサルベカラス 朕  
 茲ニ陸軍副將勲一等權重顯ヲ慰問使トナシ滿洲軍  
 總司令部又聯合艦隊ニ至ラシメ其勲績ヲ獎メ兼テ瘡  
 痍疾病等ノ難苦ヲ慰問シ俾セテ金貨若干ヲ持シ聊  
 カ以テ犒勞ノ一助トナサシム是レ 朕カ眷々ノ至意ノミ  
 茲ニ宣示ス

光武八年十月二十六日

0565

第... 通報... 於...



一、朝鮮國方面情勢

其、朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢...

其、朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢...

其、朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢...

其、朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢...

其、朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢...

其、朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢... 朝鮮國方面情勢...

井右邊城外城通過、為之設、暗路、敵ノ爆薬、由ニ燒夷セラル、ガ為、内ニ消防  
用ポンプヲ備、常ニ消防ニ努カシマアリシモ、昨日午前十時四十分、遂ニ大火災ヲ生ジ、約五  
間燒夷、午後一時、燒夷火、シタリ  
其、日、砲、向、ス、ル、才、爆、炸、者、着、手、進、移、シ、ツ、在、リ、昨、夜、夕、刻、敵、兵、約、百、名、同、砲、台、ニ  
進、入、シ、ル、カ、為、リ、出、撃、ヲ、願、望、シ、敵、兵、ヲ、増、加、セ、シ、モ、遂、ニ、出、撃、ハ、レ、テ、對、フ、マ、シ、盛、ニ、小、銃、及  
輕、機、銃、射、撃、シ、テ、才、作、業、ヲ、防、碍、セ、シ、ム、

其、四、前、頃、作、業、地、帯、内、ニ、敵、機、ヲ、見、テ、爆、薬、中、不、發、火、ノ、モ、ノ、旧、砲、台、ヲ、為、リ、送、達、ス、其、塔  
火、索、ノ、單、火、機、式、ノ、モ、ノ、シ、テ、砲、台、ノ、導、引、索、ニ、テ、以、テ、如何、ニ、彼、上、ガ、砲、筋、シ、ル、ヤ、ヲ、推、察  
ス、ル、ニ、足、ラ、ン、又、夕、他、一、砲、台、シ、テ、先、敵、塔、ニ、回、錐、攻、撃、シ、テ、於、テ、爾、日、十、月、午、時、(昨、頃) 敵、師  
團、長、司、令、台、附、近、ニ、注、下、セ、シ、敵、ノ、廿、四、加、農、砲、彈、(白、雲、方、面、ヲ、來、リ、シ、モ、) 彈、長、四、口、ヲ、シ、テ、  
不、發、シ、ル、カ、為、リ、之、レ、ヲ、分、解、シ、タ、リ、其、炸、薬、塔、中、三、分、ニ、本、片、ヲ、以、テ、補、ヒ、頭、ノ、一、部、ヲ、シ、テ、  
黒、色、炸、薬、ヲ、裝、シ、テ、リ、タ、リ、柳、老、夫、ノ、為、リ、之、レ、ヲ、送、達、ス、  
其、五、午後、三、時、中、本、隊、前、街、東、北、隅、ニ、於、テ、火、災、ノ、起、ル、ヲ、見、ル、其、火、勢、漸、時、熾、シ、テ、リ、  
九、日、ノ、死、傷、者、青、木、大、佐、(微、傷) 以下、五、名、ナ、リ、

五、第九師團方面、情况、概要、左、如、シ、  
ニ、龍、山、外、岸、上、爆、破、手、續、地、質、ノ、關係、上、往、来、ノ、モ、ト、察、シ、度、ニ、四、何、ヲ、掘、下、シ、ツ、マ、リ、  
龍、山、外、岸、上、ニ、對、シ、テ、敵、兵、約、五、百、名、ニ、對、シ、テ、約、百、五、十、米、西、砲、台、ノ、モ、リ、長、サ、約、八、十、米、  
達、シ、東、砲、台、及、一、人、堡、固、定、ヲ、モ、改、路、ヲ、進、ソ、ツ、マ、リ、五、日、ノ、死、傷、下、士、卒、十、五、名、ナ、リ、

第三軍參謀長伊地知幸介

本通... 通知

歩

石

十

海

通報

於柳樹房

第三軍司令部

青泥窪及長嶺子間流車発着時間左ノ如シ

青泥窪発

長嶺子着

前一三〇分

前四三八分

全四三〇

全七三八

後一三〇

後四三八

全四三〇

全七三八

長嶺子発

青泥窪着

前六〇分

前九一分

全九〇〇

後三一一〇

後六〇〇

全九一一〇

第三軍司令部

0568



後九〇〇

後一三、一〇

十月以降第四野戦郵便局ニ於テ差立郵便締切時刻

刻左ノ通り

一、郵便締切時刻

午前七時及午後四時、二回

二、開局時間

午前七時ヨリ午後十時迄

三、為替貯金取扱時間

午前九時ヨリ午後四時迄

各々、空の所等（ナシ）

0569

九

第三軍通報 十月九日午前十一時三十分 於柳樹房



一 攻城砲兵司令官報告ノ要旨左ノ如シ

其一 去七日二十八砲砲ヲ以テ龍山ニ向ヒ十二發(命中廿四)砲台ニ向ヒ十七發(命中廿五)松樹山咽喉

部ニ向ヒ十發(命中廿六)ヲ發射シ我作業ヲ援助セリ

徒歩砲兵連隊ノ十三加農中隊ハ松樹山ヨリ一戸保至三互ル間ノ地区ヲ有利ニ射

撃セシムルガソノ水師營東方高地及東八里庄西方高地附近ニ陣地ヲ換テ命ヲ約七日間

ニテ作業ヲ了ル豫定ナリ又シ陸戰重砲隊ノ十三加農中隊ハ砲台西門(又名山子亭)ハ李家宅

北方高地ニ徒歩砲兵連隊ノ十三加農中隊ハ揚家出東方高地ニ陣地ヲ換スルガ

日夜ヨリ具作業ヲ着テセリ

其二 八日龍山斜堤項ヨリ同撃ヲ得ル敵艦(砲艦及巡洋艦ナリ)ニ向ヒ二十八砲砲ヲ以テ四

十發ヲ發射シ我々射撃間敵艦ハ其位置ヲ轉シテ之ヲ避ケ去リ又ハ二十八砲砲ヲ以テ十

リ發射シ我々砲艦ハ効力ヲ判知スル能ハザリ又ハ砲台ニ向ヒ二十發(命中廿一)精射ヲ

發(命中廿一)其他松樹山咽喉部附近ニ向ヒ若干發ヲ發射シ我作業ヲ援助セリ

陸戰重砲隊ハ殺前軍左營附近ノ敵砲及東港港附近ノ敵艦ニ向ヒ若干射撃ヲ

施行セリ

二 第三師団方面ノ情况概要左ノ如シ

高地ノ西側ノ南ニマキシム砲ヲ備ヘ日夜我作業ヲ妨礙スルヲ以テ七日二十八砲砲ヲ以テ其

位置ヲ射撃セシメ力所可キ地兵ヲ命中シテ之ヲ破壞シタルカ如ク尙復タ發砲セズ

後果迄モ我作業ヲ妨礙セシ松樹山咽喉部ノ敵砲ハ我砲射撃ノ爲メ若ク破壊セザレバカ

七里東改兵砲臺又々同地ニテハ小澤藥庫ノ標破シタルハ有形無形方々ニ其利益與ヘタリ

甚クシク

松樹山外岸爆破ノ爲ニスル毎攻路中右肩角ニ向テスルモノハ深サ約四米八十二連ニ在  
モ未タ穿塞ニ出會セバ中央部ニ於テスルモノハ七首響響穿塞項下約四米五十三連ニ至約二十  
米ノ暗溝ニ達シ之ヨリ室内ノ人声及靴音ヲ聞ク同下之ヲ爆發スル爲ニ葉室ノ掘設中  
又々其左方ニ於テスルモノハ同日穿塞項ヨリ三米三十坪下セリ又々左肩角ニ向テモ個ヲ掘削シ  
ツ、アリ

三、外九師團方面ノ情况概要左ノ如シ

二龍山外岸爆破ノ爲ニスル四個ノ重攻路ハ七日ノ夜三米五乃至三米ノ深サニ達シ其附近ニ於テ  
ハ歩兵陣地ハ漸次堅固トナリツ、アリ  
鉤卷山及其西方各地ヨリ各千米、西砲台ヨリ別ニ約十米一戸堡固ヨリ約十五米ノ攻路ヲ通  
ンタリ又ハ將校以下四十九名ノ死傷アリ

四、北砲台外岸方面ノ情况概要左ノ如シ

北砲台外岸於テハ七日土囊ヲ推進シツ、片領区域約四米五ヲ擴張セリ尚ホ作業  
ヲ絶続シテ暗路内ヨリ全ク敵ヲ驅逐スル算ナリ昨日將校以下三十八名ノ死傷アリ

五、野戦砲兵第二旅團長報告ノ要旨左ノ如シ

八月敵ハ血染稀ナル砲撃ヲナセリ之カ爲ニ中十六射隊ノ砲一門ハ砲身ニ命中シテ破壊セラレ  
タリ我諸隊ハ主トシテ松樹山神備砲台ヲ射撃シテナカラカハ損傷言フ共ニ之ガ爲  
同砲台昨日僅カニ四發射撃セリ又々椅子山砲台及船島山砲台南方高地上ニ作業スル  
敵兵ヲ射撃シテ甲ヲ制壓セリ又々散乱セリノタリ  
諸般ノ關係上ニハ八洲砲及海軍砲ヲ築子山方面ノ敵砲ヲ制壓セラレリヲ明云

六、六沙河方面ノ情况ニ関シ總參謀長ヨリ昨夜左ノ通報アリ

第一軍方面、昨夜九時頃より十時頃、至九間、マニホウサニ附近ヨリ、射砲ヲ以テ、我  
 第一軍方面ニ於テハ、昨夜九時頃より十時頃、至九間、マニホウサニ附近ヨリ、射砲ヲ以テ、我  
 左翼支隊ノ左翼ニ向ヒ砲撃ヲセシカ、我ニ損害ナシ  
 第二軍方面ニ於テハ、朝来敵ノ砲兵ハ右翼中央、西師団ヲ射撃セシモ、我ニ損害  
 ナシ、秋山支隊ハ昨日包圍セ、五家子及張子ニ在ル敵ノ騎兵ヲ撃退シ、前面ノ敵  
 カ偵察ヲ行ヒシカ、敵ノ歩兵ハ依然ヨリユウカニ集ル、大韓台子及夏家台ノ線ヲ占領  
 して在ルカ也

第三軍參謀長伊地知幸次

0572

第三軍通報

十月十日午前一時五分  
於 柳 樹 房



在芝罘岸田少佐報告、要旨左ノ如シ(有音認、シテ清人、依テ得テ清報ナリ)

其ノ十月廿六日清人、自歐レタル敵艦、位四遊機要左ノ如シ

旅順港に杜塞、場処ニルモノニ度(煙突、モノ四隻、三煙突、モノ二隻、四煙突、モノ一隻)旅順港に杜塞、場処ニルモノニ度(煙突、モノ四隻、三煙突、モノ二隻、四煙突、モノ一隻)東清鐵道公司前

其ノ要塞、隔落期道々徒、旅順旧市街、放、場附近ニ支那人居住ヲ許レタル後

悔シ日本人ノ蒸干部ヲ斥任セシメタルハ勿論ナリ)彼等ノ媒介ニ依リ要塞内部ノ情况、如クナリ日本軍、探知セシタル者ヲ憤怒セリ又々露國官憲、新式火炮、威力ヲ顧慮シ

第一師團方面ノ情况概要左ノ如シ

松樹山外岸頂、放テ音改路中、中兵部ノ二個、爆薬ヲ裝メキ藥室、掃掃中ナリ左角、向テ左ノ密窟頂ヨリ、菜甲ヲ墮下シ又夕右角、向テ左ノ密窟頂下ニ菜甲ノ処、於テ密窟、密窟セリ以テ其側壁、注テ墮下レリ(先ニ四法、ノ下セリ)ハ密窟、有リナリ以テ之ヲ廢セリ)此外空擊、彈地三十米ヲ在方、延長セリ先、遺留シタル中、至二十、暗滿、其端亦ヲ察見セレカ此ヨリ、内トシ、内部ヲ穿孔

シツ、アルカ如キ音響ヲ聞ク  
高地ニ對シ、八十、六十、米、乃、三、米、改路、進、音、響、滿、北、方

第九師團方面ノ情况概要左ノ如シ

高地ニ對シ、八十、六十、米、乃、三、米、改路、進、音、響、滿、北、方

二龍山外岸砲臺於九月廿六日攻路八日ヲ米三十一乃至の米九十ノ地俾セリ、針方面ニ墜下シツルカ  
故ニ密直ニ測リタル深度少シ、艦龍山新砲台ニ向テ攻路、其頭部ノ約半米ノ砲兵陣  
地ヲ構築シ又々鉢巻山ヨリ十五米、西砲台ヨリ二十米、東砲台ヨリ二十五米、戸堡壘ヨリ十二  
米、攻路ヲ地俾進セリ  
東砲台於テ砲撃ヲ八發ヲ供壘ニ於テ梯子一付(長廿六中三尺)方北五何十米餘一付ヲ發見セリ、當日  
將校(三以下二十九名ノ死傷アリ)

四、第十師團方面情概要左ノ如シ  
北砲台外岸砲臺於九月廿六日我兵出陣ヲ推進シテ、逐次敵ノ驅逐レツルヲ後ニ三米前進セ、全ク  
敵ノ砲兵ニ達スル見込アリ、敵ニ着弾ヲ有シ、我ノ少カク、危篤ヲ與フルヲ以テ、目下敵方ニ  
於テ之カ製作ノ着手シヤリ  
其他方面ニ向テ攻路ニ着々進板レツルアリ、昨日東野冠山散兵壕ニ向テ發射シタル十五顆榴彈  
八發中砲撃シテ殊ニ其一條ニ榴彈五發中其内ニ在ル敵兵四五名ヲ砲撃セシメタリ  
以テ砲台ヨリ發射シタル敵彈ハ爲メ四十七發砲二所破壊セラレタリ、當日我死傷ノ將校以下廿五名アリ

五、野戰砲兵隊二旅團長報告ノ要旨左ノ如シ  
第十聯隊野戰砲隊昨日松樹山附近ニ於テ作業スル敵兵、龍山東方支那國部、鉄飯(夜間)  
至ルハ、此ハ機關砲ヲ出スルヲ以テ、向テ敵兵ヲ射シ、對シテ二發ノ命中彈ヲ得タルニシテ  
破壊スルニ至リ、又夕十一時砲兵松樹山、榴彈砲台ニ向ヒテ三發(命中五)ヲ發射セリ  
又夕第十七聯隊ノ十三所砲左砲台、西南後線ニ在ル野砲、向ヒ三發、第十八聯隊ノ榴彈砲  
砲台、龍山西南支那國部ノ急造砲台、向ヒ三發、第十八聯隊ノ榴彈砲台、向ヒ一發、第十八聯隊ノ榴彈砲  
報告ニ依テ、敵ノ砲撃ニ命中シタリト云フヲ發射セリ

六、攻城砲兵司令部報告ノ要旨左ノ如シ

昨日八時砲台が中へ砲を打ち、十一時、松山、  
 松樹山、椅子山等、向て敵艦を撃つ。砲台は、対して、火庫、  
 放つて多量に、損傷を與へたり。但し敵艦は、対して、我射撃を  
 以て、中へ、得ん、能ハカリ、又、陸軍砲隊十五門、砲台、  
 中へ、砲を打ち、砲台、破壊射撃を施行せり。

第三軍参謀長伊地知幸介

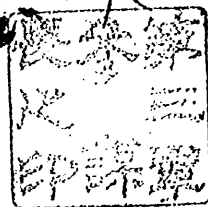
0575

三軍副第一三五二號

明治三十七年十月十日

第三軍參謀長伊地知幸介

海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍  
海軍陸軍



左記ノ通り満州軍總參謀長ヨリ通牒アリ御差

知相成度

満州軍  
總司令部  
謀臨第一七號第一

明治三十七年十一月二日 満州軍總參謀長

第三軍參謀長宛

物品購入或ハ其他ノ目的ヲ以テ遼陽或ハ營口ニ至リシ

0576



者ニシテ我陣ノ行動砲教等ニ就テ見聞セル事ヲ  
漏洩スル者有之由尔今右様ノ事無之様御戒  
飭相成度及通牒候也

0577

三軍副第 一三五三號

明治三十七年十月十日

第三軍副官吉岡友



海軍陸戦隊を陸軍に移すに付、其の事務は、

軍郵便部ヨリ左ノ通り通牒アリ

三監郵第 一〇三二号

通牒

明治三十七年十月六日

第三軍兵站監部郵便部

第三軍副官部宛

當青泥沱方面(本邦及他)へ到着スル郵便物ハ毎月左記ノ

0578

列車ヲ以テ遅送スル事ニ改正致候之付テハ其次ニ掲  
 載セン時刻迄ニ最寄ノ野戦郵便局へ御差出相成候  
 ハ、當日各便ノ差立ニ附セラルベク御参考迄ニ申進候

長嶺子駅發  
 一 号便 午前九時 第百四列車  
 二 号便 午後六時 第百六列車

區	別	第百長嶺子(第百高黃頭)	第百高黃頭(第百高黄頭)	第百高(後波包)
一 号	便	午前八時	午前六時十五分	午前七時
二 号	便	午後五時	午後三時十五分	午後四時
				午前六時
				午後三時

0579

三軍副第 三五四號

明治三十七年十月十日

第三軍副官吉岡友愛

海軍陸軍を在任持柄を重く再任定む



0580

u

野戦鉄道提理部ヨリ左ノ通り通牒アリ

鐵提發第 三六五號

明治三十七年十月六日

野戦鉄道提理部

第三軍司令部宛

諸勤務令ノ規定ニ準シ且其範圍内ニ於テ別紙ノ通り  
輸送手續ヲ改正致ス間此段及申通知ス也

遼陽以北ノ輸送及遼陽ヨリ還送品ノ輸送ハ當分  
從前通り遼陽運輸事務所於テ其請求ヲ受領致候  
間申添矣也

別紙

野戰鐵道輸送手續(改正)

- 第一 野戰鐵道ニ依ル輸送ノ種類概ネ左ノ如シ  
糧秣(サ新炭ヲ含ム)兵器被服裝器器具材料(兵員及傷病者ノ郵便物)
- 第二 鐵道輸送ヲ為サントスル官衙軍隊ノ豫メ(成ルベシハ三月前)其輸  
送ヲ鐵道提理部ニ請求スルモノトス而シテ輸送請求ノ書類差ハ電  
文ニハ其品目數量ヲ明示スルヲ要ス且噸量ニ滿タサルハ輸送ニ行  
テハ驛長ニ輸送請求ヲ為スコトヲ得
- 第三 日々一定ノ輸送ヲ要スル官衙ノ為メ其列車差ハ列車中ノ一定數量ヲ  
限リ該官衙ノ専用ニ供スルコトアリ此場合ニ於テハ輸送ノ種類數量ヲ
- 第四 日々鐵道提理部ニ通報スルモノトス  
將校同相備官及其從者、其他ニ在テハ官衙軍隊ノ便乘請求書ヲ有  
スルモノ限リ驛長ハ列車ニ餘積アル場合ニ於テ便乘ヲ許可ス但其請求書ハ

0581

驛長ニ交付スヘキモノトス

第五

輸送ノ保護及保管ハ輸送ノ属スル官衙軍隊ノ責任トス故ニ必要ナレハ請求  
差ハ發送ノ官衙軍隊ハ半領者ヲ附スヘシ但其人負ハ通常十車毎ニ各ヲ  
限リトス十車未満ノモノニアリテモ亦同シ

第六

輸送ノ積載ハ發送官衙軍隊卸下ハ受領官衙軍隊ノ擔任トス此等ノ官  
衙軍隊ハ積卸主任者ヲ定メ積卸ノ方法ニ就キ豫メ驛長ト協議セシムルヲ要ス但  
貨物ニ在テハ通常積載ノ考メニ時間卸下ノ考メニ時間ヲ標準トス

中間停車場ニ於テ列車ノ停車場ニ於ケル積載及卸下ハ如何ナル場合ニ  
於テモ発車時刻迄之ヲ終ルヲ要ス

第七

積卸主任者ハ積載停車場ニ於テハ貨車用掛網及必要ナレハ雨覆ヲ取  
長ヨリ受領シ卸下停車場ニ於テハ必ス之ヲ取纏メテ取長ニ返付スヘシ

第八

貨物ハ片積ヲナス運轉中激動崩落等ヲナキ様積載シ其幅面ハ貨車  
ノ床面ト同一ニシ其高ハ如何ナル場合ニ於テモ床面上六尺ヲ起スヘカラス

第九

貨物積載ノ方法宜シキヲ得スト認メタルトキハ其車輛ヲ解放ス又途  
中ニ於テ墜落シタルトキハ貨物アリト雖も列車ハ之レカ考メテ特ニ停  
車スルコトナク又鐵道職員ニ於テ之ヲ取除スルコトナシ

第十

貨車ノ積載前及卸下後貨車ヲ停車場積堆スルニ方テ汽車ノ通過ニ  
危険ヲ共ヘサル為メ以テ軌條ヨリ二三尺ヲ隔タルヲ要ス其他積卸ノ位置  
及積堆法ニ就テハ積卸主任者ハ取長ノ指定ニ従フヘキモノトス

第十一

傷病者輸送ニ要スル車輛内ノ裝備及は裝備品ノ保管ハ衛生官衙ノ擔任  
トス必要ニ際シ車輛ノ消毒モ亦同官衙之ヲ實施スヘキモノトス

第一 貨物宰領者及傷病者獲送者ハ突送官衛隊ノ宰領者若ハ獲

送者タルノ證明書ヲ有スルヲ要ス

第三 鐵道提理部ハ輸送途中ノ給養ヲ行フコトナシ故ニ輸送セラルル人員ハ

自カラ辨當ヲ推行スルカ若ハ途中ノ兵站司令部ヨリ給養ヲ受クルハ再々置ヲ  
為サハルヘカラス

第十四 本改正手續ハ十一月十六日ヨリ実施ス

明治三十七年十一月

野鐵鐵道提理部

0583